

学びのR

No. 25 (令和2年3月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

*** 「主体的・対話的で深い学び」で授業改善¹⁵ *** ～各教科等の特質に応じた見方・考え方について～

*今回は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、各教科等の特質に応じた見方・考え方について考えます。

なぜ、「見方・考え方を働かせる」ことが大切なのですか？

今回各教科等で示された「見方・考え方」は、前号までの「学びのR」でも示してきた通り、学習過程で物事を捉えるために働かせる**視点**や**考え方**です。各教科等の学習活動の中で、各教科等の特質に応じた見方・考え方（例えば、国語科では「言葉による見方・考え方」、図画工作科・美術科では「造形的な見方・考え方」）を働かせながら、新しい知識・技能をすでに持っている知識・技能と結び付け、社会の中で、生きて働くものとして習得したり、思考力・判断力・表現力を豊かなものとしたり、社会や世界にどのように関わるかの視座を形成したりするために重要となるからです。

小学校 学習指導要領（平成29年3月告示） * 中学校 学習指導要領では「児童」が「生徒」となります。

第1章 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 第1の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

いつ、「見方・考え方を働かせる」のですか？

習得・活用・探究という学びの過程で「見方・考え方を働かせる」ことが重要となります。

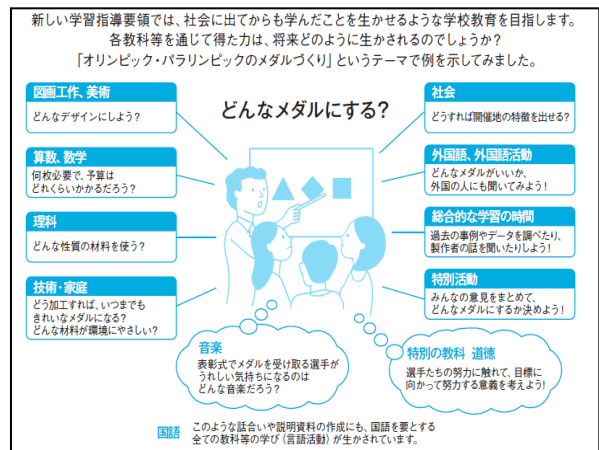
誰が、「見方・考え方を働かせる」のですか？

「見方・考え方を働かせる」のは**児童生徒**です。教師は、児童生徒が「見方・考え方」を自在に働かすことができるようにすることが重要です。

どのように「見方・考え方を働かせる」のですか？

「見方・考え方」は、各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすもので、教科等の学習と社会をつなぐものです。指導方法を工夫して必要な知識・技能を教授しながら、それに加えて、例えば、**児童生徒の思考を深めるために発言を促したり、児童生徒が気付いていない視点を提示したり**することで、児童生徒が「見方・考え方」を働かせるようにします。

「各教科等の学習と社会をつないでいる」参考例



文部科学省 リーフレットより

小・中学校の各教科等の「見方・考え方」は、何ですか？

* 各教科等の学習指導要領解説に示されている「見方・考え方」を一覧にしました。

教科名	小学校	中学校
国語	【言葉による見方・考え方】 対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること	
社会	【社会的事象の見方・考え方】 社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けること	【社会的事象の地理的な見方・考え方(地理的分野)】 社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること 【社会的事象の歴史的な見方・考え方(歴史的分野)】 社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けること 【現代社会の見方・考え方(公民的分野)】 社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること
算数・数学	【数学的な見方・考え方】 事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること	
理科	【理科の見方・考え方】 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること	
生活	【身近な生活に関わる見方・考え方】 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする	
音楽	【音楽的な見方・考え方】 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること	
図工・美術	【造形的な見方・考え方】 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと	【造形的な見方・考え方】 感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと
体育・保健体育	【体育の見方・考え方】 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること 【保健の見方・考え方】 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること	
技術・家庭		【技術の見方・考え方】 生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること 【生活の営みに係る見方・考え方】 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を想像できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること
外国語	【外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること	
道徳	【道徳科における見方・考え方】 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること	【道徳科における見方・考え方】 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えること
学習の総合的時間	【探究的な見方・考え方】 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること	
特別活動	【集団や社会の形成者としての見方・考え方】 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること	



児童生徒が、学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、**教師の専門性が発揮されること**が求められています。



「学びのR」
はこちらからも御覧いただけます！



参考 「小学校学習指導要領」、「中学校学習指導要領」 文部科学省
「小学校学習指導要領解説 総則編」他各教科等編 文部科学省
「中学校学習指導要領解説 総則編」他各教科等編 文部科学省
「平成 29・30 年改訂 学習指導要領 周知・広報ツール リーフレット」 文部科学省